

学校運営協議会活動状況報告書

本校における学校運営協議会の活動状況について、次のとおり報告します。

1 活動状況

- (1) 1～9年生全学級の授業参観を行った。
- (2) 新たに委員に就任した長峰氏（秋田内陸縦貫鉄道社長）に任命状を手渡し、今回から参加となった。
- (3) 学校長が学校教育目標実現のための具体的方策（グランドデザイン）に沿って、これまでの活動について説明を行った。
- (4) 各委員から授業参観の感想、質問やご意見、要望等を伺った。
- (5) 義務教育学校藤里学園から5名が参加し、一緒に授業参観を行った。協議の終わりに、感想や質問をいただいた。

- ・先生方の児童生徒一人一人に対する温かさが、安心感や生き生きとした姿につながっている。また、先生方も生き生きしている。少人数のよさである。
- ・アウトプット主体の活動が素晴らしい。社会に出たら、吸収したものをどう考え、出していくかが大切になる。
- ・先日のふるさとPRペイント活動を見せてもらった。前期課程は、高学年が低学年をリードしており、コミュニケーション能力の高まりが感じられた。後期課程は表情が非常によく、列車が通れば手を振りながら作業するなど、「地域とともに」を体現しているようであった。
- ・久しぶりに会った児童から「しばらくぶり」の一言が嬉しかった。6年児童のあいさつや声かけにミドルリーダーとしての自覚が表れていた。
- ・体育祭のプレミアムシートがとてもよかった。地域の声を拾い上げ、反映させる姿勢が見られた。
- ・タブレットの表示文字が小さく、視力に何か影響はないのか心配である。
- ・学園祭に多くの観客を呼び込む手立てとして、「気軽に参加できる誘いの言葉」「内陸線の時刻」「卒業生への声かけ」などポスターに記載してはどうか。また、吹奏楽演奏などへの参加型も取り入れ、参加者としての集客を考えてみてはどうか。
- ・クラブ活動の内容を見直すことや、若い人を講師に迎えることも考えていってよいのではないか。
- ・比立内の熊対策として、近所に逃げ込める場所を、学校と協力してお願いすることができた。

2 成果と課題

- ・児童生徒、教職員、地域が一体となった様々な活動とその成果について十分な理解を得られた。また、今後も様々な方面から協力と支援をお願いした。
- ・学区が広く、保護者世帯外に、学校からの情報やお誘いをどのように発信していけばよいか。また、卒業生や子どもがいない世帯の方とどう関わっていくか考えていきたい。
- ・地域の人材の高齢化が心配である。クラブ活動において、新たな分野や若い方の助力など検討していく必要がある。